

ひとり言特集 第3回

10月2日発行の98号から16日ぶりの学校だよりとなっていました。言い訳がましくなってしまうのですが、先週はずっと体調をくずしておりました。体がだるく、節々も痛くて最悪だったのですが、土曜日から日曜日にかけて、劇的に回復しました。（理由はあとで記述します。）そこで、今回は体調回復記念ひとり言特集とします。（自分の私的なことすみません）

●先々週、東中で私が学年主任だった頃の生徒2名（どちらも26歳で夫婦です）が午後5時頃に来校しました。一昨年結婚したのですが、男の子が2か月前に誕生したということで、私に見てもらいたいということで来たのです。名前をつける時も、Tくん（夫）の意見は却下（キャッカ：とりあげないこと）され、Yさん（奥さん）のつけたい名前にしたのだそうです。もう完全に、YさんがTくんを自分の尻に敷いて（シリニシク：妻が夫を軽く見て、思いのままにあつかうこと）いるような感じですが、Yさんが言うには「この人（Tくんのこと）、反省はするけど全然学習しないから、結局同じ失敗ばかりするんですよ」ということでした。だから、自分がしっかりコントロールしてやらないといけないという意味なのでしょう。そういえば、みなさんの中にも、定期テスト後にはしっかり反省するものの、結局はいつも同じ反省をしている人がいます。「反省」をもとに「学習」していないからだと思います。Tくんの失敗と言うのはお酒に関することなのだそうです。私もTくんを援護する形で、自分の失敗を話しました。話しているうちに、私も「学習」が足りないと感じました。久しぶりに赤ちゃんを抱かせてもらったのですが、本当にかわいかったです。みなさんも、そうだったんですよ。

●先日、家族でホテルでのランチバイキングに出掛けました。いつもそんなところに行ってるわけではなく、招待券を友人からいただいたからでした。朝ご飯も控えめにして、満を持して（マンヲジス：十分用意をすること）行きました。しかし、いろいろな物に目がいて、最終的には何を食べたかわからないくらい満腹になり、結局は後悔するいつものパターンでした。私たちの隣に座った老夫婦は、パスタとサラダを食べ、さらに食後にケーキとコーヒーでさっと帰って行きました。本当に自然で、カッコイイ夫婦でした。私とえば、食べ放題や飲み放題に行くと、どうしても元をとろうといじましい（イジマシイ：こせこせしていて見苦しい。けちけちして意地汚い）気持ちになってしまいますが、しっかりした気持ちがあれば、有効に対処できるものだ、老夫婦を見て思いました。

●10月8日に、野球部の3年生を送る会におじゃましました。2年生が3年生との思い出や関わりを一人ずつ話して、手紙と記念品を贈るのですが、とてもいい雰囲気でした。先輩と後輩のあるべき姿を再度認識しました。先輩が後輩の面倒を見、後輩は先輩のやることからいろいろなことを学ぶというのが、最終的には先輩、後輩どちらも成長することになるのだと思います。

●先週の金曜日、地域に住む西川さん（1年 西川くんののおばあさん）から雑巾をいただきました。毎年いただいているということです。どんなことでも、最初は感謝していても、それが続くとしだいに慣れて、感謝の気持ちが薄くなることもあるかもしれませんが、その都度新鮮な気持ちで感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

●公民館まつりの時に、私に「最近の学校だより、校長先生の似顔絵がなくてさびしいです」と声をかけてくれた方がいたことを、以前掲載しましたが、図書ボランティアの方だということがわかりました。毎週いろいろやってもらっているのに、存じ上げなくて（ゾンジアゲル：「知っている」の謙譲語）申し訳ありません。ところで、学校だよりに関する話をもう一つ。近隣の中学校の教頭先生の実家が小中野にあり、時々行くのだそうです。そうすると、回覧されてきた「希望の鐘」をコピーしたものを、実家のお母さんが必ず渡してくれるのだそうです。ですから「別の中学校勤務ですが、私は小中野中のことをよく知っていますよ」と言われたことがあります。また、小中野に住んでいるある私立高校の野球部監督の先生から、「希望の鐘No.95を読んで感動しました」ということ聞きました。いろいろな方に読んだ感想をお寄せいただくことは、大変うれしいことでありがたいです。

●先週の土曜日は、小中野小学校の学習発表会に行きました。小学生の元気で渾身とした演技を見たり、器楽演奏を聞いているだけで元気をもらうことができました。1部と2部の間に、1年生の青木さん、鹿島さん、川井さんの3人が私のところにあいさつに来ました。私の近くにいた方が、「校長先生のところに、生徒さんがあいさつに来るとするのは、本当にいい雰囲気ですね」と言ってくれました。3人があいさつに来てくれたことも、それを地域の方に評価していただいたことも、どちらもうれしかったです。

●最後に、どうして体調が回復したのかを話します。先週の土曜日の夜は、小中野おやじの会の定例会でした。最近、校舎のペンキ塗りをはじめとして、文化祭には焼き鳥と焼きそばの調理と販売をしていただくことになっていきますし、70周年記念式典では、駐車場の係もお願いしているなど、おやじの会にはお世話になりっぱなしです。体調が悪いとは言っても、ここで欠席するわけにはいきません。もちろん懇親会も同じです。（家族は、「アルコールは飲まないでお茶でいいでしょう」と言いますが、そんな失礼なことはできません。）おやじの会の方々といろいろなことで盛り上がりながら、久しぶりにアルコールを飲み、翌朝少し遅めに目がさめたら、なんと一気に回復していました。うそみたいな話ですが、本当です。いろいろなことでお世話いただいているうちに、私の体調まで回復させてくれて、おやじの会のみなさま、ありがとうございました。おやじの会の不思議なパワーを感じました。